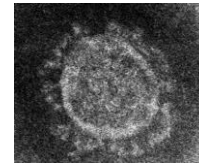


1. 新型コロナウイルス感染症のこれまでとこれから

講師 岡山大学学術研究院医歯薬学域（疫学・衛生学）教授 頼藤 貴志

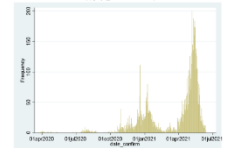


世界中を震撼させている新型コロナウイルス感染症ですが、岡山県も過去最大の第4波を経験したところです。今回は、新型コロナウイルス感染症の世界・日本・岡山県での、これまでの感染状況を振り返り、ワクチン接種が世界中、また国内でも進む中、新型コロナウイルス感染症のこれからや私たちが日常生活で気をつけなければならないことについて考えてみたいと思います。



新型コロナウイルス感染症
診療の手引き 第5版より

岡山県内確定者の流行曲線
(確定日ベース)



感染状況・医療提供体制の分析(6月9日時点) 【岡山県専門家有志】 詳細

区分	モニタリング項目 *①-③は過去1週間合計	前回の数値 (前週累計)	現在の数値 (前週累計)	前回の比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり) 60歳以上 (75歳未満)	243人 (12.9人)	93人 (4.9人)	↓	レベル3. 感染拡大の兆候があるが警戒が必要 人口10万人当たり4.9人の新規陽性者。新規陽性者数は減少傾向も。60歳以上の新規陽性者数の割合は微増。緊急事態宣言の効果もあり新規陽性者数は減少も。入院患者など療養に必要な人の数の減少には時間を要している。緊急事態宣言の効果も意味あるものにするため、ワクチン接種も含め現在の感染対策を継続。感染者数を低レベルで抑え込みながら、L1レベルまで引き下ろす必要がある。
	岡山県東部	133人	50人	↓		
	岡山県西部	96人	41人	↓		
	高梁・新見	5人	1人	↓		
	真庭	1人	1人	→		
津山・英田	6人	0人	↓			
市中感染	③新規陽性者における接触歴不明者	割合	37%	41%	↓	
	④入院患者数	254人	166人	↓	レベル4. 体制が逼迫していると思われる	
医療提供体制	⑤確保病床における入院割合	52%	34%	↓	自宅療養者は21人。入院患者数は減少傾向。新規陽性者の減少に伴って確保しやすくなった病床に入院患者は減少傾向。手洗いやマスクの着用を徹底し、感染拡大を抑制し、L1レベルまで引き下ろす必要がある。	
	⑥重症者数	18人	7人	↓		

3 すべての人に健康と福祉を

16 平和と公正をすべての人に

2. ワクチン接種後のコロナ感染予防と心身の健康の維持

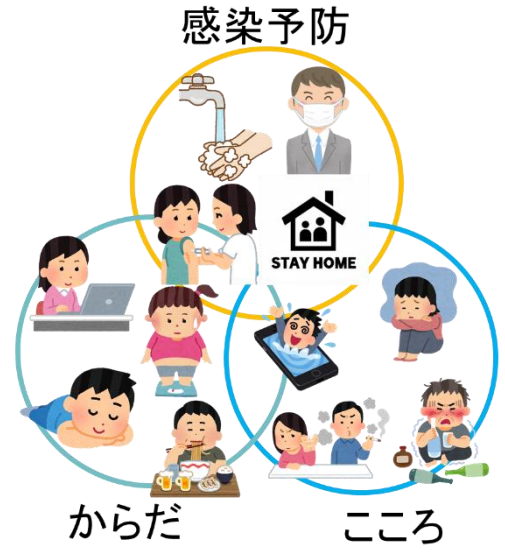
講師 岡山大学学術研究院医歯薬学域（公衆衛生学）教授 神田 秀幸



COVID-19によるパンデミックによって、たった一つの感染症が社会を変え、人々の行動や往来により蔓延し生命を奪うことを、人類は経験しています。国内では本格的にワクチン接種が始まりましたが、感染症流行の収束はまだ見通せない状況です。感染予防をこころがける生活はまだ続きそうです。一方で、外出自粛による生活習慣病などを心配される声も多くあります。感染拡大を防ぎつつ、心身の健康の維持に役立つヒントになれば幸いです。

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに



★オンライン(Zoom)開催 参加者募集

※今回はオンライン開催となります。参加者には、開催日前日に、Zoomの参加用URLをお知らせします。

- ◆開催日時 2021年7月14日(水) 午後6:00~7:30
- ◆会場 オンラインにて開催
- ◆申し込み方法 岡山大学研究推進機構HP 申し込みフォームにて、お申し込みください。
【申し込みフォーム】 <https://www.orzd.okayama-u.ac.jp/shakaijin/sciencecafe-form/>
- ◆申し込み締切り 2021年7月13日(火)午前10時
- ◆参加費 無料 ◆定員 300名 ◆問合せ先 吉田・松田 TEL 086-251-7112

社会人及び学生・生徒さんどなたでもご参加ください